

平成18年12月1日（金）年末年始号（No.9）

あ　　じ　　ふる　　さと
阿　　字　　の　　故　　郷

高野山真言宗 天応山神保寺 千手院 情報誌
編集者：川上修 詮

相模自治布教団主催の遊行会

「阿字観と読経実修の遊行会」

平成十八年九月十一日（月）に日帰りの遊行会を行いました。参加者は総勢九十名で、茅ヶ崎や海老名の各地域から、それぞれのバスで出発し、津久井の顕鏡寺に集合。境内散策の後に本堂内にて第一部の阿字観実修が行われました。

開会に際しては、相模宗務支所井上景暁支所長のご挨拶と、顕鏡寺の岩木観定ご住職にご法話をいただきました。

山上の清生とした空気の中を、参加者全員心が一つになり、時の止まった瞬間が訪れました。それぞれの思いが円満な月輪となって広がり、心地よい一時を過ごしました。

第二部は、寒川の安楽寺へ移動し、客殿で昼食を頂いた後、本堂にて参加者のお写経が、参加者代表で檀信徒協議会理事・十輪寺責任役員の磯村道雄様により、井上支所長に渡され、ご本尊様に奉納されました。

写経奉納に際して、第二地域伝道団の山縣和昭団長よりご挨拶を頂き、翌日の高野山登山の際にご本山にお届けする旨をご説

明いただきました。

安楽寺の玉園篤敏ご住職のご法話につづき、仏前勤行次第の説明と、発声の方法の練習があり、最後に声を揃えて読経を致しました。初めて会った方々も多い中、周りの方々の気持ちを気遣い、優しい心持ちで読経する姿は、当に仏様と成った参加者の成果を現しているようでした。

終了後、主催者の自布団長よりの謝辞が述べられ盛況の内に閉会となり、それぞれのバスで各地域へ散会いたしました。



第二地域(東日本)の研修会見聞録

【六月十四日】宗祖弘法大師ご誕生青葉祭が埼玉県熊谷市妻沼の歓喜院で開催さ、お写経と法会が行われました。

農繁期でもあり、繁忙の中を大勢の檀信徒が出席する中、その後の宴会では、乾杯に続き中締めという大変かわった打ち上げに感心いたしました。

【十月三日】高野山真言宗の寺族婦人会東日本ブロック研修会に招待され、栃木県的那須へ行ってきました。

ヤンキー先生こと義家弘介さんの講演をうかがいました。子供も親も学校の先生もみんな一人で悩んでいるままでは、今のいじめや虐待は無くならない。大勢の大人が協力して子供に向かう習慣を付けられるよう自分も努力していく旨を話されました。

精神科医の見川泰岳先生は、女性のご苦労の多いことを経験上で知り、参加したご婦人方を賞賛され、気持ちをはぐしたところで、男性の気づかぬ点を代表して反省の弁を述べられました。

【十月十日】東日本地区教師研修会で福島県のいわき市の会場へ伺いました。

高橋富雄先生は、現役の福島県立博物館の名誉館長で、東北における精神文化のご研究を半世紀以上にわたって続けられています。特に今回は、弘法大師さまの後継者として、東北の仏教文化を担っておられた、徳一阿闍梨の生涯など興味深いお話しを頂きました。

大下大圓先生は、高野山と現代の心の問題について講演されました。お寺と医療と地域社会の関わり合いなど、多くの経験をもとにお話しをしていただきました。

【十月二十三日】資延敏雄管長猥下をお迎えての特別伝道が、埼玉県の熊谷文化創造館で開催されました。

管長猥下のご法話の後、本山布教師の小塩祐光大僧正の、弘法大師さまのご一生をまとめたのお話し。お大師さまに密教を授けられた、恵果阿闍梨の偉大さと、それを余すところ無く受けられたお大師様のお陰で、今の真言密教が有ることのありがたさを、切々とお話しいただきました

【十月二十一日】高野山東京別院の万灯会は、例年どおり開催され、大般若転読法会やクロードチャリのコンサートなど、盛りだくさんの内容でした。

【十一月七日】東日本枢議参与研修会が群馬県伊香保で開催されました。

講談や落語の催しの後、書道史研究家の織部光洲先生の弘法大師さまの書の歴史的な意味や、影響力を多くの資料をもとに講演頂きました。

最後のインド舞踊は、インド政府派遣のダンスチームで、盆踊りのルーツになった踊りには参加してみました。

【十一月十四日】京浜地区枢議参与研修会が熱海後楽園ホテルで開催され、千手院からも、石橋久照様・楠本実様・原田島雄様はじめ十二名が参加。

養老孟司先生の脳の働きと、宗教心との関係を興味深くうかがい、睡眠の重要性と信仰の必要を話されました。

本堂建設ご寄付の現状報告

※ご寄付は強制ではありません。無いお金は無理矢理に出す必要はありません。お知らせの金額は、あくまでも参考です。ご自分で判断してください。

建設委員会

【平成十八年十一月末日まで・順不同】

高橋 勉殿	渡辺恒雄殿	峰惠津子殿
高井英夫殿	原田徳明殿	茂木籌雄殿
宇賀あゆみ殿	金田明子殿	金田保子殿
久米フミ江殿	杉崎 朗殿	水島喜代一殿
白井昭治殿	新倉英一殿	斉藤利明殿
水島 巖殿	新倉春生殿	原田泰正殿
加藤和夫殿	栗原俊吾殿	鈴木和子殿
小澤久美子殿	小池 忠殿	坂本有典殿
平山弘子殿	水嶋梅雄殿	小宮美恵子殿
馬場英治殿	只野俊彦殿	原田良保殿
渡会孝子殿	松山すゞ殿	原田徳明殿
熊切正夫殿	山口 實殿	原 アイ殿
白井精治殿	水島 誠殿	水島秀男殿
白井健太郎殿	水島芳江殿	大八木猛夫殿
川島幸八殿	神谷松枝殿	新田和男殿
新倉 章殿	神谷清子殿	宇崎義郎殿
齋藤 浩殿	白井辰男殿	水島昌一殿
柳原 孝殿	斎藤邦彦殿	水嶋富士雄殿
二見常夫殿	岩見嘉正殿	水島寅夫殿
石橋久照殿	川島 保殿	鈴木得郎殿
鈴木美津子殿	平田博子殿	二本木和代殿
清水英雄殿	新倉秀春殿	楠本 実殿
楠本彦一殿	新倉弘保殿	水島照子殿

水島和美殿 阿部進一殿 新倉文字殿
新倉正行殿

現在七十三名の方々からのご寄付で、
総額四千四百七十二万円を頂いております。

年末年始の行事の予定です

○本堂と境内の大掃除

十二月二十三日（土）に年末の大掃除を致します。ご本尊様やご先祖様の周りを檀信徒の皆様の手で磨きをかけ、すがすがしい気持ちで新年に備えましょう。

参加ご希望の方は、ご連絡下さい。大勢の方の参加をお待ちしています。

○年越し祈願法会

大晦日午後十一時三十分より元日午前〇時三十分まで、新年のお守り札をご祈願する読経会を致します。

読経の後、精進のおせち料理を頂きながら、新年の抱負を話し合いたいと思っております。是非お出かけ下さい。

○初詣受付

正月三箇日は、初詣にお越し下さい。戌年の土鈴を参詣記念に差し上げます。数に限りがありますので、先着順とさせていただきます。

○新年答礼

平成十九年一月四日（木）終日にかけて住職が護寺会員の皆様のお宅に、お守り札を持って伺います。天候や仏事の都合で伺えない場合も有りますのでご了承下さい。

○節分会

平成十九年二月三日（土）午前十一時より十間坂の円蔵寺にて、節分護摩祈祷会が行われます。

護摩札ご希望の方は、千手院寺務所までお申し込み下さい。一枚二五〇〇円です。

○春季彼岸会閻魔祭

平成十九年三月二十一日（水）お中日の午前十一より、境内閻魔十王堂前にて読経と法話を行います。

昼食を兼ねた茶話会も予定しておりますのでお誘い合わせの上お越し下さいませ。

平成十九年の実修会の予定

○阿字観実修会（日曜日の午後四時）

一月十四日・二月四日・三月四日
 四月一日・五月六日・六月三日
 七月一日・八月十九日・九月二日
 十月七日・十一月四日・十二月二日
 ※参加は無料です。予約も不要です。

○写仏と写経会（午前十時から正午まで）

一月十四日・二月十八日
 三月十八日・四月三十日
 五月二十七日・六月二十四日
 七月二十二日・八月二十六日
 九月三十日・十月二十八日
 十一月二十五日・十二月十六日

※奉納料一〇〇〇円のみご用意下さい。

○金剛流御詠歌講

月二回木曜日の午後一時三十分より行っております。参加ご希望の方は、お問い合わせ下さい。見学も可能です。

平成十九年の年回忌供養表

一周忌	平成十八	(二〇〇六)	年
三回忌	平成十七	(二〇〇五)	年
七回忌	平成十三	(二〇〇一)	年
十三回忌	平成七	(一九九五)	年
十七回忌	平成三	(一九九一)	年
二十三回忌	昭和六十	(一九八五)	年
二十五回忌	昭和五十八	(一九八三)	年
二十七回忌	昭和五十六	(一九八一)	年
三十三回忌	昭和五十	(一九七五)	年
三十七回忌	昭和四十六	(一九七一)	年
四十三回忌	昭和四十	(一九六五)	年
四十七回忌	昭和三十六	(一九六一)	年
五十回忌	昭和三十	(一九五八)	年
百回忌	明治四十	(一九〇八)	年

※ご法事をご希望の方は、お寺に日時を確認をしてお決め下さい。同じ日時に法事の重なる場合がありますので、先着順とさせていただきます。

- ①日時と場所の確認
- ②卒塔婆の名簿
- ③参加者の人数
- ④食事の有無と場所
- ⑤生花と供物の注文
- ⑥位牌と遺影等

以上

高野山真言宗 天応山神保寺

千手院

〒253-0015 神奈川県茅ヶ崎市代官町1番4号

電話 0467(51)9758

FAX 0467(51)0561

ホーム <http://www.shusen.com/senjuin>

メール senjuin@shusen.com